

## 第 89 回日本学生陸上競技対校選手権大会 エントリー注意事項

本大会は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を配慮したうえでの大会運営となります。

社会から十分な理解を得られる開催方法を確保して初めて、全国規模の競技会の開催が可能となります。そのためには、競技者・監督・コーチ等、関係者一人一人の意識と行動が必要となることをご確認のうえ、以下の各点について、ご理解・ご協力をお願いいたします。

### ①大会の開催条件と健康管理・感染予防について

大会の開催は、以下に記載した条件を満たしていることが最低条件となります。条件を満たない場合は、大会中止という判断もあり得ますことをご承知おきください。

1. 緊急事態宣言が解除されていること
  - ①移動制限の解除
  - ②不要不急の外出自粛の解除
  - ③店舗営業自粛の解除
  - ④学校における部活動が認められている
2. 競技会開催を管轄する自治体からイベントの開催が認められていること
3. 医療機関に新型コロナウイルス感染症患者受け入れ対応の余裕がある状態であること  
(医療体制および一般診療・救急診療体制に問題ない)
4. 競技会に関わる全ての人(審判員・競技者・コーチなど)の健康状態の管理体制が整っていること

特に 4 については、日本インカレに出場する競技者はもちろん、当日競技会会場に入場する大学関係者も対象となります。大会開催の 2 週間前から大会終了後 2 週間の間、1 日 2 回の検温及び健康状態の確認を行ってください。大会前ならびに大会期間中、健康状態に異変がある方のご入場はお断りします。

また、各大学は 1 日ごとにチーム関係者の健康状態の管理を行い、全員が健康であることを確認したという監督又は代表者の署名入りの用紙を、毎朝あるいは競技場到着後、直ちに競技者受付へ提出してください。用紙については後日別紙を掲載致します。必要部数をコピーしてお使いください。形式的に用紙を提出するだけとなることがないように、実際に検温等の体調管理を実施し、その結果を報告するよう、ご協力をお願いいたします。

競技場に入場する方は、原則として、マスクを着用していただきます。競技者については、ウォームアップ及び競技の最中はマスクを外していただいて結構です。ただし、フィールド競技における試技の待ち時間はマスクを着用してください。競技役員も、審判活動の支障になる場合はマスクを外していただいて結構です。ご理解・ご協力をおねがいします。

手指の消毒ですが、各ゲートや招集所入口などに消毒液を配置しますので、特別な理由がない限り、必ず手指の消毒をお願いします。また、石鹸を利用したこまめな手洗いも奨励します。

各大学の集団応援については禁止といたします。大声で応援する等の感染リスクの高い行動は控えていただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症が、万が一、発症したと疑われる場合は、医療機関へ連絡するとともに、大会本部あるいは日本学生陸上競技連合事務局までご連絡ください。その場合、健康状態の確認書の提出や大会期間中などの行動記録を確認する場合があります。

新型コロナウイルス感染症の防止にご協力ください。

## ②エントリーの流れ

本年は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、各種目の出場人数を制限します。このため、エントリー及び出場決定までの流れが、例年と異なりますので大会要項の9.～11.の内容をよくご確認ください。

各地区学連においては、以下の対応をお願いいたします。

- ・8/21（金）までに日本学連にエントリーを受け付けたデータを送信する。
- ・新型コロナウイルス感染症感染のリスクを最小限に抑えるため、エントリーに際しては各地区学連で対面方式による申し込みは避け、メール申し込みなどの方法を取り入れる。
- ・それ以外の書類については郵送または宅急便等で日本学連に送付する。（8/24（月）12:00必着）
- ・8/26（水）以降、日本学連から各地区学連に出場の可否と大学ごとの参加料をお知らせします。それを各大学に連絡し、各大学から参加料を徴収し、日本学連に9/1（火）までに送金してください。

### ③競技について

新型コロナウイルス感染症感染防止対策を配慮した結果、エントリー方法や競技方法が従来と変わりますのでご理解いただき、ご協力ください。

- ・標準記録を設定する。→ 昨年と同様。ただし、現在の社会情勢下で公平性を担保するために、2020年3月以降に各大学の主催で行われた競技会の中で、参加対象者を同学内の学生のみとした競技会の記録は標準記録として認めない。
- ・標準記録設定期間を延長し、→ 2018年1月1日から2020年8月15日とする。
- ・エントリーさせた上で、人数を絞り込み大会を開催する。→ 下記に種目ごとに記載。
- ・エントリー期間は例年とほぼ同じ。
- ・フィールド種目長さを競う競技は、前半2回後半2回の試技、高さの競技は跳躍回数を8回に限定して競技を行う。
- ・今年に限りC標準での参加は認めない。

競技種目	出場人数・競技実施方法
100m・200m・110mH・100mH	記録上位50名の参加、予選で着取り+ $\alpha$ が準決勝進出、8名が決勝進出。
400m・400mH・4×100mR・4×400mR	記録上位50名の参加、予選で記録上位8名が決勝進出。
800m・1500m	記録上位50名の参加、予選で着取り+ $\alpha$ が決勝進出(800mは8名、1500mは15名)。 予選・決勝の競技日は同一日を原則とする。
5000m・10000m・3000mSC・10000mW	記録上位25名の参加、決勝のみとする。 3000mSCのみ20名。
走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投	記録上位20名の参加、前半2回でTOP8を選び、後半2回。
走高跳・棒高跳	記録上位20名の参加、従来のルールに加え、8回試技を行ったら、競技終了。
混成競技	記録上位15名の参加、走幅跳・砲丸投・円盤投・やり投は2回の試技で、走高跳・棒高跳は従来のルールに加え、8回試技を行ったら、競技終了。

※ ロールコールの場所、時刻等についても現在検討中です。密集状況をなるべく避けるための工夫を検討中ですので、プログラム記載の競技注意事項を熟読したうえで、競技にご参加ください。

以上